

社是の精神を引き継いだ

先人たちの言葉

社是に込められた精神を引き継いだ先人たちの言葉を紹介します。
創立から70年が経過した今でも共感する言葉があるのではないのでしょうか。

信用を尊び責任を重んず



初代取締役社長
林 虎雄
1949年～1967年

私たちの仕事は、人の命につながるものであります。
自動車がひと度、事故を起こせば、人命を失うことになります。
「誰がどんな使い方をしても、心配ない」という信用を
頂ける物を作る事が私たちの責任であります。



第三代取締役社長
白井 武明
1973年～1977年

自分の持ち場持ち場で最善の努力と誠意で仕事をしている、
そのかたまりがデンソーになると思うんですよ。(中略)
みんなが責任・プライドを持って楽しく仕事をする状態になる、
それがいい会社になると思うんだ。

研究と創造に努め常に時流に先んず



元取締役副社長
北野 多喜男
1973年～1977年

カーエレクトロニクスはデンソーにとって、
ほとんどまだ未開発の分野であるが、
将来必ず自動車産業の中で重要な分野となる。



元取締役副社長
青木 勝雄
1978年～1981年

あなたがこのICの開発を進める投資を決断して下さったら、
私は成功させてみせますよ。

デンソーのIC開発

過酷な使用環境を強いられる自動車部品だからこそ、自社で高品質のICを開発する必要があると感じた先人たちは、当時、自動車業界では誰も目を向けていなかったICやエレクトロニクスに取り組みました。

虚飾を排し和衷協力誠実事^{あた}に當る



第四代取締役社長
平野 史
1977年～1982年

自分が生かされることによって、
職場における生きがいを感じられるような空気がなければいけない。
これは今後とも貫いていこうと思っています。



第五代取締役社長
戸田 憲吾
1982年～1987年

いつも自分の立場からばかり考えるのではなく、
相手の立場にもなって考えれば、
自らそこに理解と共感の広場が生まれるはずである。

最善の品質とサービスを以て社会に奉仕す



第二代取締役社長
岩月 達夫
1967年～1973年

社会を少しでも良くしていこうという一種の使命感を、
人間ならだれでも持っているはず。社会に役立つような、
プラスになるようなことをやって死んでゆきたい。



元取締役副社長
青木 勝雄
1978年～1981年

お客様は一台の車しか買わないのだから、
その一台が何十台のうちの一台であろうと、
良品でなくてはならない。